



下坂部小学校だより

令和4年11月2日 第8号 学校長 杉本 浩美
住所：尼崎市下坂部1丁目12-1
ホームページ：http://www.ama-net.ed.jp/school/E07/



いよいよ音楽会！！

11月11日（金）、12日（日）に2年ぶりの音楽会を開催します。

2年前はコロナ流行の1年目で、世界中手探りで感染対策をしていたので、合唱も鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの吹奏楽器の使用もできなかった

ので、様々な工夫をしながらでしたが、工夫次第で音楽の楽しさは十分味わえるということをお伝えできた音楽会になりました。また、コロナ禍であっても、SNS上では様々な方法で音楽を使った表現を発信したり共有したりする動きがありました。音楽が、いかに私たちに寄り添い元気づけてくれるものであるかということに改めて再認識しました。

今回の音楽会も、マスクをしたまま、保護者の方も学年ごとの入れ替え、といった感染対策をしつつ...とはなりますが、表現の方法としては、ずいぶんコロナ禍前のやり方でできるようになりました。教室から聞こえてくる子どもたちの歌声は、ほんとうにいいものです。

お忙しいこととは思いますが、ぜひ子どもたちの演奏を聴きにいらしてください。前月の学校だよりでもお知らせしましたように、ご家庭ごとの人数制限もせずに実施する予定です。ただし、学年が終わるごとに保護者席も全員いったん出ていただくことにしていますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

浄瑠璃クラブ 3年ぶりに大近松祭に出演しました

この2年間、コロナ流行のため中止されていた大近松祭が、3年ぶりに開催されました。大近松祭は、近松門左衛門の命日にちなんで広済寺で行われる法要と合わせて、お隣の近松記念館で開催されています。3年ぶりだったので、出演するのは6年生も初めて。当日は、国立文楽劇場の方の人形浄瑠璃も上演される舞台に立たせていただきました。緊張はしましたが、練習の成果を生かして精一杯がんばり、たくさんのお客さんから大きな拍手をいただきました。次は12月2日の近松デーでがんばります。



広済寺の境内で



浄瑠璃の人形といっしょに

【11月の行事予定】

- 1日（火）朝会
- 3日（水）文化の日
- 5日（土）地域学校協働活動によるペンキ塗り
- 7日（月）委員会
4年生環境学習（エコレンジャー）
- 11日（金）音楽会（児童鑑賞日）
- 12日（土）音楽会（保護者鑑賞日）
- 14日（月）代休日
- 15日（火）5年生自然学校（グリーンア）
- 17日（木）尼崎市小学校音楽会（4年）
- 18日（金）避難訓練（火災）
- 21日（月）クラブ
- 23日（水）勤労感謝の日
- 25日（金）2年社会見学（王子動物園）

【12月の主な予定】

- 2日（金）近松デー
- 5日（月）委員会
人権週間（9日まで）
- 6日（火）朝会・創立記念日
- 7日（水）マラソン大会
予備日 14日（水）
- 9日（金）あまっこステップアップ調査
- 12日（月）クラブ
- 16日（金）校外児童会・集団下校
- 21日（水）給食終了
- 23日（金）終業式 大掃除
- 24日（土）冬季休業日（1月9日まで）



* 3学期始業式 1月10日（火）

★地域学校協働活動でペンキ塗りをさせていただきます！

11月5日（土）に地域学校協働活動でペンキ塗りをさせていただきます。今年で4年目になります。児童の教室のある北館は昭和12年に建てられた趣のある校舎ですが、あちこち壁や手すりのペンキがはがれてしまっています。今年、1階の廊下の壁を塗っていただく予定です。協力して下さる皆さん、よろしくお願いたします。

★4年生が小学校音楽会に出演します

コロナ禍で実施できていなかった小学校音楽会も3年ぶりに開催されます。小学校音楽会は2日間午前午後に分かれて市内の小学生がアルカイクホールに集まって互いの演奏を披露・鑑賞しあいます。本校も4年生54人が11月17日（木）に出演します。オーケストラのコンサートでも使われるアルカイクホールのステージで胸を張って出演してきます。

★下坂部小学校が日本教育工学協会(JAET)の学校情報化優良校に認定されました

学校情報化優良校とは、日本教育工学協会が、教育の情報化の推進を支援するために、全国の学校の中から、「情報化の推進体制」を整えて「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校を認定しているものです。尼崎市では2校目の認定となりました。

コロナの感染拡大を見据えて全国でGIGAスクール構想が前倒しで進められて3年目。一人1台のパソコン配布が始まる前の3年前には想定していなかったスピードで様々なことが進んでいます。確実に子どもたちのこれからの生活は機器の有効な活用ときいてもきりはなせないものになっていきます。機器に振り回されるのではなく、機器の活用により生活も学びも豊かなものにしていけるよう、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

